

令和 6 年 6 月 5 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(B)（一般）

研究期間：2020～2023

課題番号：20H01464

研究課題名（和文）明治政治外交史の完成を目指して：極東の国際関係と薩長交代

研究課題名（英文）Towards an Accomplishment of the Meiji Political and Diplomatic History: Transition of Hegemony from Satsuma-clique to Choshu-clique amid the International Relations of the Far East

研究代表者

五百旗頭 薫 (Iokibe, Kaoru)

東京大学・大学院法学政治学研究科（法学部）・教授

研究者番号：40282537

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 13,700,000円

研究成果の概要（和文）：幕末・明治期の日本の対外関係について、英語・ドイツ語史料を中心に、マルチアーカイバルな研究を進めた。大量の在独日本関係史料を東京大学史料編纂所より公開する等、史料面での貢献は大きかったが、学術的な知見もそれに劣らない。以下の二点を挙げておく。
第一に、日本の政治体制が各国との外交関係に与えた影響を考察することができた。特に王政復古に至る幕末外交史にとって極めて重要な知見である。第二に、日本の行政に対する列国の評価をより高い解像度で理解することができた。条約改正史研究の進展に資する知見である。

研究成果の学術的意義や社会的意義

第一に、外交史研究を多角化することに成功した。第二に、外交と内政の連関をより深くとらえることができた。両者は通常トレードオフだが相互促進的に進展したので、日本政治外交史への貢献は大きいといえる。その成果の重要な部分は日本政治学会の機関誌『年報政治学』2022年73巻2号の特集として収録された。政治学における歴史研究の重要性を確認する上でも有意義であった。
第三に、以上の研究および発信が予定より早く進捗したため明治以降への影響や日独の国制比較といった方面に知見を広げることができた。知見がより普遍的になるにしたがって一般向け書籍での執筆や国内外での講演を求められ、社会的な意義を実感することができた。

研究成果の概要（英文）：We conducted multi-archival studies focusing on English and German historical sources regarding Japan's foreign relations during the late Shogunate and Meiji periods. While our contribution to source materials was significant, such as making available a large volume of Japan-related historical documents in Germany from the Historiographical Institute of the University of Tokyo, our academic findings were equally notable. I highlight the following two points:
Firstly, we were able to examine the influence of Japan's political system on its diplomatic relations with various countries. This is particularly crucial in the diplomatic history of the late Shogunate era.
Secondly, we gained a deeper understanding of the international assessment of Japan's administration at a higher resolution. This knowledge contributes to the advancement of treaty revision history studies.

研究分野：日本政治外交史

キーワード：米国 ドイツ 長州 薩摩 開国 条約改正 居留地 検疫

様式 C - 19、F - 19 - 1 (共通)

1. 研究開始当初の背景

幕末・明治期の外交史研究が精緻化するにしたがって、内政の動態への理解と乖離する傾向を感じていた。双方を深めれば新たな連関が見えるのではないかと考えた。

2. 研究の目的

幕末・明治の外交史における英語史料を使った研究とドイツ語史料を使った研究とを架橋することで当該期の日本の対外関係への理解を多角化し、同時に日本国内の政治・行政の展開についての実証的な研究を深める。いわば外交史の水平的な視野を広げ、内政史の垂直的な理解を深めるといふ一見、矛盾する研究方向を追究することで、両者の結合を新たに見出すことを試みた。

3. 研究の方法

(1) マルチアーカイバルな史料調査を行った。
(2) 内政史について史料・文献調査を精力的に行った。
(3) 前項で述べた野心的な研究を追究するため、信頼できる少人数のチームで研究発表と議論を膨大に蓄積した。日本政治外交史を研究する五百旗頭薫（研究代表者、以下は研究分担者）・稲吉晃・福岡万里子・松居宏枝に加え、市川智生が感染症・医療分野からの例示を与え、大西楠・テアがドイツとの比較の視点を提供し続けた。

4. 研究成果

(1) 前項(1)の海外の史料調査については、前半はコロナの制約を受けたが、後半は巻き返すことができた。

(2) 前項(2)の国内の史料調査については、コロナの制約はより限定的であった。

(3) 前項(3)の研究会合からの最大の成果は、松沢裕作の参加・協力を得て『年報政治学』2022年73巻2号の特集「幕末・明治期の国際関係再考」を編纂したことである。詳しくは所載の諸論考を参照頂きたいが(<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/nenpouseijigaku/list/-char/ja>) が、本研究計画の目的に照らして成果を紹介すると以下の3点を挙げることができる。

幕末の日本の政治体制をめぐる欧米列国の理解と、これら列国の対日政策の関係との連関がよりクリアになった。

条約改正交渉と日本の行政の発達度合いを単線的に関連付けるのではなく、行政の物理的な対象範囲に従った区分と説明を構想できた。19世紀後半、水面では船舶の取り締まりをめぐる国際的な規範がほぼ成立しており、水際には疫病発生時の停船措置をめぐる国際的な規範の対立があった。陸では受入国（日本含め）の行政は分野も内容も多様であった。日本が行政権を欧米人・船舶に行使しようとする中、寺島宗則外務卿は水面・水際を主たる対象としたが、水面では誰が取り締まりの主導権を握るかの、水際には国際的に並び立つ規範をいずれを選ぶかの、争いに巻き込まれ挫折した。続く井上馨外務卿・外務大臣は陸に退いて行政権の貫徹を試みるが、欧米の際限のない吟味と条件闘争に巻き込まれ、繰り返し交渉の遅延を余儀なくされた。

以上の知見を、感染症・医療史の専門的知見と、ドイツ国制との比較を通じて構想・展開することができた。

(4) 明治中期は政権の主導権が薩派から長州派へと徐々に移行する時代であった。上記の寺島（薩摩出身）から井上（長州出身）の交代もそれを象徴する。条約改正交渉において日本が主に提携したのは、寺島期は主に米国であり、井上期は主にドイツであった。ここにも外交と内政のゆるやかながら重要な接点が見いだされる。既に五百旗頭が国内外の講演で発信しており、今後、著作物に反映される予定である。

(5) 以上のように研究目的が概ね達成されたのが2022年度であったため、2023年度は対象時期を前後に広げ、かつ日独比較を深めるといった形で、当初の計画以上の成果をおさめることができた。それは極めて多産であり、研究計画の確かさを傍証するかのようであった。

五百旗頭は幕末・明治期との比較を念頭に戦間期・戦後の政治対立について論考を発表することができた（細谷雄一・板橋拓己編『民主主義は甦るのか？』慶應義塾大学出版会、小宮京・伏見岳人・五百旗頭編『自民党政権の内政と外交：五五年体制を越えて』ミネルヴァ書房）。また、ブラジル・イタリアの研究者と共同で条約改正史・移民政策史を研究し、日本語・ポルトガル語の対訳本を5月にブラジルにて出版した（“130 anos atravessando o tempo e o oceano: Diálogos entre Brasil e Japão na passagem do século XIX para o XX”『XX』(130年 時空と海を越えて:19世紀から20世紀を通じての日伯の対話(邦題))、de Mario Giuseppe

Losano, Gustavo Silveira Siqueira, João Eduardo de Alves Pereira, Satomi Takano Kitahara e Kaoru Iokibe)(Engenho das Letras)。

市川は感染症対応について研究をさらに進めて論文を執筆・公刊した(歴史科学協議会編『深化する歴史学：史資料からよみとく新たな歴史像』大月書店)。

福岡は幕末から明治初年に締結されたいわゆる不平等条約の形成過程を再考して成果を発信した(「幕末の不平等条約再考 近世の日蘭関係と米国の参入」 「2つの開国 幕末～戦後日本の政治と外交」公益財団法人日本国際問題研究所主催公開シンポジウムでの講演)。

松居は明治の服装について日独関係史を視野に入れつつユニークな論考を発表した(「昭憲皇太后の最初の国産洋装大礼服:オットマール・フォン・モールを中心に」『日本研究』第68集)。

大西はドイツ国制における連邦制論への考察を深めて一般向けの書籍で発信し(『キーコンセプト法学史』ミネルヴァ書房所載) かつ現代の日本の出入国管理法制をめぐる論考も発表した(「出入国管理体制から考えるコロナ後の法学」『法律時報』95(9))。

(6)以上のように極めて良好・豊饒な成果を得た理由としては、第一に研究目的が明確で野心的であったため、日本政治外交史を専門とするチームの中で極めて真剣な競争と協力が成立したこと、それを前提として第二に隣接分野からの的をしばった協力と対話が実現したことが考えられる。しかし研究助成が得られなければここまでの成果は望めなかったものであり、関係各位に心から感謝する次第である。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計20件（うち査読付論文 3件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 15件）

| | |
|---|---------------------|
| 1. 著者名 五百旗頭薫 | 4. 巻 2022-11 |
| 2. 論文標題 はじめに | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 年報政治学 | 6. 最初と最後の頁 1~5 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7218/nenpouseijigaku.73.2_3 | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著 - |
| 1. 著者名 福岡万里子 | 4. 巻 2022-11 |
| 2. 論文標題 日本の主権者は誰なのか - 幕末駐日外交官の日本認識と外交1858~1862 | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 年報政治学 | 6. 最初と最後の頁 13~41 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7218/nenpouseijigaku.73.2_13 | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著 - |
| 1. 著者名 大西楠テア | 4. 巻 2022-11 |
| 2. 論文標題 連邦国家における邦(ラント)の外交権 | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 年報政治学 | 6. 最初と最後の頁 42~59 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7218/nenpouseijigaku.73.2_42 | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著 - |
| 1. 著者名 稲吉晃 | 4. 巻 2022-11 |
| 2. 論文標題 開港場行政の誕生 | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 年報政治学 | 6. 最初と最後の頁 79~97 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7218/nenpouseijigaku.73.2_79 | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|---|----------------------|
| 1. 著者名 市川智生 | 4. 巻 2022-11 |
| 2. 論文標題 明治期日本の海港検疫をめぐる政治外交 | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 年報政治学 | 6. 最初と最後の頁 98～121 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7218/nenpouseijigaku.73.2_98 | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|----------------------|
| 1. 著者名 福岡万里子 | 4. 巻 239 |
| 2. 論文標題 パウリングとの比較からみるハリスの対シャム条約交渉 - 19世紀前半アジアの貿易構造変化と外交 | 5. 発行年 2023年 |
| 3. 雑誌名 国立歴史民俗博物館研究報告 | 6. 最初と最後の頁 95～173 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名 松居宏枝 | 4. 巻 別冊28 |
| 2. 論文標題 ローレンツ・フォン・シュタインの衛生制度論と後藤新平 | 5. 発行年 2023年 |
| 3. 雑誌名 環 (後藤新平－衛生の道 1857－1929) | 6. 最初と最後の頁 134～146 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|--------------------|
| 1. 著者名 五百旗頭薫 | 4. 巻 2022/12/9 |
| 2. 論文標題 米口中核冷戦の歴史的考察 日本の安全保障の国内的基盤を求めて | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 日本国際問題研究所ウェブサイト | 6. 最初と最後の頁 1-18 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|--------------------|
| 1. 著者名 五百旗頭 薫 | 4. 巻 46 |
| 2. 論文標題 開港から基地へ～近現代日本の条約運用～ | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 東大法曹会会報 | 6. 最初と最後の頁 3～14 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-------------------|
| 1. 著者名 五百旗頭 薫 | 4. 巻 2022/7/20 |
| 2. 論文標題 安倍元首相銃撃事件とこれからの保守政治 | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 フォーサイト | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|-----------------|
| 1. 著者名 五百旗頭 薫 | 4. 巻 2022年3月 |
| 2. 論文標題 条約の運用と改正の間　ブラキストン事件とジラード事件から | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 日本国際問題研究所HP 『歴史系検討会論文集』 | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|---|---------------------|
| 1. 著者名 IOKIBE, Kaoru | 4. 巻 2021年11月22日 |
| 2. 論文標題 Yukichi Fukuzawa 's Outbreak Communication 2: Going beyond the "Protect Everyone" Rhetoric | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 The Tokyo Foundation for Policy Research | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|--------------------|
| 1. 著者名 IOKIBE, Kaoru | 4. 巻 2021年6月11日 |
| 2. 論文標題 Yukichi Fukuzawa's Outbreak Communication: A Lesson in Conviction and Flexibility | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 The Tokyo Foundation for Policy Research | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|-------------------|
| 1. 著者名 五百旗頭 薫 | 4. 巻 2021年5月7日 |
| 2. 論文標題 福澤諭吉の感染症コミュニケーション<後編>「全員を守るため」 明治時代のレトリックを越えるとき | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 東京財団政策研究所HP「政治外交検証研究会」 | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|---|-------------------|
| 1. 著者名 五百旗頭 薫 | 4. 巻 2021年5月7日 |
| 2. 論文標題 福澤諭吉の感染症コミュニケーション<前編>多様性を含んだ思想のエネルギー | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 東京財団政策研究所HP「政治外交検証研究会」 | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 五百旗頭 薫 | 4. 巻 791 |
| 2. 論文標題 コロナ禍の日本政治外交史 | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 法学セミナー | 6. 最初と最後の頁 44-49 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 福岡 万里子 | 4. 巻 2 |
| 2. 論文標題 ハリスの素顔 - 対日交渉を成功させた米国外交官の苦い体験 | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 Rekihaku | 6. 最初と最後の頁 30-36 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名 福岡 万里子, 日高 薫, 澤田 和人 | 4. 巻 228 |
| 2. 論文標題 スミソニアン研究機構所蔵の幕末日本関係コレクション - ベリー・ハリス・遣米使節団 | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 国立歴史民俗博物館研究報告 | 6. 最初と最後の頁 101-165 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|---|---------------------|
| 1. 著者名 松居宏枝 | 4. 巻 68 |
| 2. 論文標題 昭憲皇太后の最初の国産洋装大礼服: オットマール・フォン・モールを中心に | 5. 発行年 2024年 |
| 3. 雑誌名 日本研究 | 6. 最初と最後の頁 23-44 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15055/0002000141 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 大西楠テア | 4. 巻 95 (9) |
| 2. 論文標題 出入国管理体制から考えるコロナ後の法学 | 5. 発行年 2023年 |
| 3. 雑誌名 法律時報 | 6. 最初と最後の頁 22-27 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

〔学会発表〕 計32件（うち招待講演 24件 / うち国際学会 20件）

| |
|-------------------------------|
| 1. 発表者名 五百旗頭薫 |
| 2. 発表標題 開港から基地へ：近現代日本の条約運用 |
| 3. 学会等名 東大法曹会基礎講座（招待講演） |
| 4. 発表年 2022年 |

| |
|--------------------------------|
| 1. 発表者名 五百旗頭薫 |
| 2. 発表標題 修好通商条約と安保条約の運用 |
| 3. 学会等名 日本国際問題研究所日本政治外交史研究会 |
| 4. 発表年 2022年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 IOKIBE, Kaoru |
| 2. 発表標題 How to manage Sovereignty Restriction: Japan's experience of the 19th century "Unequal Treaty" and postwar Japan-US Security Treaty |
| 3. 学会等名 TCJS Seminar Series（招待講演）（国際学会） |
| 4. 発表年 2022年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 OHNISHI, Nami Thea |
| 2. 発表標題 Die Rolle der Rechtswissenschaft im einem immer dichter werdenden pluralistischen Rechtssystem |
| 3. 学会等名 4. DJVD(第4回日独憲法対話)（招待講演）（国際学会） |
| 4. 発表年 2022年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 稲吉晃 |
| 2. 発表標題 近代日本の港町をめぐる政治と外交 |
| 3. 学会等名 新潟大学共生経済研究センター公開シンポジウム（招待講演） |
| 4. 発表年 2022年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 稲吉晃 |
| 2. 発表標題 近代日本港湾都市のアポリア：敦賀の事例を中心に |
| 3. 学会等名 第5回東北アジア人文ネットワーク国際学術大会（招待講演）（国際学会） |
| 4. 発表年 2022年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 INAYOSHI, Akira |
| 2. 発表標題 Development of Yokosuka as A Naval Port City: the 1860s-1960s |
| 3. 学会等名 YCAPS-SPF Community Conversations（招待講演）（国際学会） |
| 4. 発表年 2022年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 INAYOSHI, Akira |
| 2. 発表標題 Comparative Impact of the Pandemics on Society in Japan |
| 3. 学会等名 AAS Annual Conference（国際学会） |
| 4. 発表年 2023年 |

| |
|-----------------------------------|
| 1. 発表者名 市川智生 |
| 2. 発表標題 感染症アーカイブスと琉球沖縄史における感染症 |
| 3. 学会等名 第54回 ビブリオシンポジウム(招待講演) |
| 4. 発表年 2022年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 IOKIBE, Kaoru |
| 2. 発表標題 Transnational Research in a Multipolar World, International Conference of the Max Weber Foundation |
| 3. 学会等名 Max Weber Foundation(招待講演)(国際学会) |
| 4. 発表年 2023年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 IOKIBE, Kaoru |
| 2. 発表標題 From nuclear weapons opponent to nuclear power advocate |
| 3. 学会等名 Association for Asian Studies(国際学会) |
| 4. 発表年 2023年 |

| |
|--------------------------------|
| 1. 発表者名 五百旗頭薫 |
| 2. 発表標題 修好通商条約と安保条約の運用 |
| 3. 学会等名 日本国際問題研究所日本政治外交史研究会 |
| 4. 発表年 2022年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 INAYOSHI, Akira |
| 2. 発表標題 Development of Yokosuka as A Naval Port City: the 1860s-1960s |
| 3. 学会等名 YCAPS-SPF Community Conversations (招待講演) (国際学会) |
| 4. 発表年 2022年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 INAYOSHI, Akira |
| 2. 発表標題 Comparative Impact of the Pandemics on Society in Japan |
| 3. 学会等名 AAS Annual Conference (国際学会) |
| 4. 発表年 2023年 |

| |
|-----------------------------------|
| 1. 発表者名 市川智生 |
| 2. 発表標題 感染症アーカイブスと琉球沖縄史における感染症 |
| 3. 学会等名 第54回 ビブリオシンポジウム (招待講演) |
| 4. 発表年 2022年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 Fukuoka, Mariko |
| 2. 発表標題 Heusken 's Life in Yedo : 1858 to 1860/61 |
| 3. 学会等名 Informal gathering at the Dutch Embassy in Tokyo after the Henry Heusken commemoration at Korinji Temple (招待講演) (国際学会) |
| 4. 発表年 2023年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 福岡万里子 |
| 2. 発表標題 ハリス条約の先駆け - 1857年日蘭通商条約の光と影 |
| 3. 学会等名 オランダ大使館主催ミニシンポジウム『出島から東京へ』（招待講演）（国際学会） |
| 4. 発表年 2023年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 IOKIBE, Kaoru |
| 2. 発表標題 How to manage Sovereignty Restriction: Japan 's experience of the 19th century "Unequal Treaty" and postwar Japan-US Security Treaty |
| 3. 学会等名 Yale MacMillan Center, Council on East Asian Studies (招待講演) (国際学会) |
| 4. 発表年 2022年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 IOKIBE, Kaoru |
| 2. 発表標題 Why the Japan-U.S. Security Treaty and the Status of Forces Agreement (SOFA) Have Not Been Revised since 1960 |
| 3. 学会等名 Program on U.S.-Japan Relations Associates' Panel: "Rethinking the Origins of U.S.-Japan Alliance", WCFIA, Harvard University (招待講演) (国際学会) |
| 4. 発表年 2022年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 IOKIBE, Kaoru |
| 2. 発表標題 Sovereignty!: Japanese Independence after the Meiji Restoration (1868) and the San Francisco Peace Treaty (1951) |
| 3. 学会等名 The Center for East Asian Studies, University of Pennsylvania (招待講演) (国際学会) |
| 4. 発表年 2022年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 IOKIBE, Kaoru |
| 2. 発表標題 19th-Century Cholera to COVID-19: Ohioan John A. Bingham and Japan's Diplomatic Responses to Infectious Diseases |
| 3. 学会等名 The Institute for Japanese Studies, The Ohio State University (招待講演) (国際学会) |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 IOKIBE, Kaoru |
| 2. 発表標題 Dramatic History in the Far East |
| 3. 学会等名 ロスアンデス大学日本センター (招待講演) (国際学会) |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 IOKIBE, Kaoru |
| 2. 発表標題 Short Constitution in Far East |
| 3. 学会等名 "Japanese Modernization" Course / JICA Chair Program at the University of Indonesia (招待講演) (国際学会) |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|--------------------------------|
| 1. 発表者名 五百旗頭 薫 |
| 2. 発表標題 感染史上のコロナ、政治史上の菅義偉首相 |
| 3. 学会等名 現代政治と文化研究会 (招待講演) |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|----------------------------------|
| 1. 発表者名 五百旗頭 薫 |
| 2. 発表標題 歴史から考えるコロナ危機下の日本政治・外交 |
| 3. 学会等名 日本生産性本部・日本アカデミア（招待講演） |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 IOKIBE, Kaoru |
| 2. 発表標題 History of prewar Japan-US Relations |
| 3. 学会等名 Houston Educators Development Program, Japan-America Society of Houston（招待講演）（国際学会） |
| 4. 発表年 2020年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 五百旗頭 薫 |
| 2. 発表標題 明治のコレラ～令和のコロナ |
| 3. 学会等名 東京財団政策研究所 政治外交検証研究会「歴史から考えるコロナ危機 危機と災害の時代 政治に何ができるのか」 |
| 4. 発表年 2020年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 福岡 万里子 |
| 2. 発表標題 徳川幕府からアメリカ大統領への贈り物（1860） |
| 3. 学会等名 日仏文化講座「再発見！フォンテーヌブロー宮殿の日本美術 徳川幕府からフランス皇帝への贈り物」（招待講演） |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 福岡 万里子 |
| 2. 発表標題 誰が主権を有するのか - 幕末駐日外交官の日本認識と外交 1858-1862 - |
| 3. 学会等名 日本政治学会年報 (2022-11) 委員会 |
| 4. 発表年 2022年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 福岡 万里子 |
| 2. 発表標題 万延元 (1860) 年遣米使節団が見せようとした「日本」 |
| 3. 学会等名 Exhibiting "Japan" Overseas 海外で《日本》を展示すること - 海外のコンテキストと日本のコンテキスト (国際学会) |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|--------------------------------------|
| 1. 発表者名 松居 宏枝 |
| 2. 発表標題 近年の日本・ドイツ関係史料の調査・研究状況について |
| 3. 学会等名 横浜開港資料館研究会 (招待講演) |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 Nami Thea Ohnishi |
| 2. 発表標題 Gruppen im Recht: Soziale Gruppierungen und das Individuum im japanischen Rechtssystem aus einer geschichtlichen und rechtsvergleichenden Perspektive betrachtet |
| 3. 学会等名 アウクスブルク大学法学部における日独シンポジウム: Individualitaet und Kollektivitaet in Recht, Kultur und Rechtskultur Deutsche und japanische Perspektiven (招待講演) (国際学会) |
| 4. 発表年 2024年 |

〔図書〕 計13件

| | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 著者名 藤原書店編集部 | 4. 発行年 2023年 |
| 2. 出版社 藤原書店 | 5. 総ページ数 456 |
| 3. 書名 近代日本を作った一〇五人 | |

| | |
|-----------------------------|-----------------|
| 1. 著者名 小宮 京、伏見 岳人、五百旗頭 薫 | 4. 発行年 2023年 |
| 2. 出版社 ミネルヴァ書房 | 5. 総ページ数 316 |
| 3. 書名 自民党政権の内政と外交 | |

| | |
|-------------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名 日本政治学会 | 4. 発行年 2022年 |
| 2. 出版社 筑摩書房 | 5. 総ページ数 288 |
| 3. 書名 幕末・明治期の国際関係再考 年報政治学 2022 - | |

| | |
|---|-----------------|
| 1. 著者名 岩城 卓二、上島 享、河西 秀哉、塩出 浩之、谷川 穰、告井 幸男 | 4. 発行年 2022年 |
| 2. 出版社 ミネルヴァ書房 | 5. 総ページ数 388 |
| 3. 書名 論点・日本史学 | |

| | |
|----------------|-----------------|
| 1. 著者名 稲吉 晃 | 4. 発行年 2022年 |
| 2. 出版社 吉田書店 | 5. 総ページ数 312 |
| 3. 書名 港町巡礼 | |

| | |
|--|-----------------|
| 1. 著者名 福岡 万里子 | 4. 発行年 2023年 |
| 2. 出版社 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館 | 5. 総ページ数 328 |
| 3. 書名 国立歴史民俗博物館研究報告 第239号 [共同研究] 近世代転換期東アジア国際関係史の再検討 - 日本・中国・シヤムの相互比較から - | |

| | |
|-----------------------------|-----------------|
| 1. 著者名 小宮 京、伏見 岳人、五百旗頭 薫 | 4. 発行年 2023年 |
| 2. 出版社 ミネルヴァ書房 | 5. 総ページ数 316 |
| 3. 書名 自民党政権の内政と外交 | |

| | |
|-------------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名 日本政治学会 | 4. 発行年 2022年 |
| 2. 出版社 筑摩書房 | 5. 総ページ数 288 |
| 3. 書名 幕末・明治期の国際関係再考 年報政治学 2022 - | |

| | |
|----------------|-----------------|
| 1. 著者名 稲吉 晃 | 4. 発行年 2022年 |
| 2. 出版社 吉田書店 | 5. 総ページ数 312 |
| 3. 書名 港町巡礼 | |

| | |
|---|-----------------|
| 1. 著者名 Robert Fletcher and Robert Hellyer | 4. 発行年 2022年 |
| 2. 出版社 Bloomsbury | 5. 総ページ数 232 |
| 3. 書名 Chronicling Westerners in Nineteenth-Century East Asia Lives, Linkages, and Imperial Connections | |

| | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 著者名 季武 嘉也 | 4. 発行年 2021年 |
| 2. 出版社 放送大学教育振興会 | 5. 総ページ数 300 |
| 3. 書名 日本近現代史〔新訂〕 | |

| | |
|------------------------|-----------------|
| 1. 著者名 筒井 清忠 | 4. 発行年 2020年 |
| 2. 出版社 筑摩書房 | 5. 総ページ数 320 |
| 3. 書名 昭和史講義【戦後篇】(下) | |

| | |
|--|-----------------|
| 1. 著者名 小川浩三・松本尚子・宮坂渉編 | 4. 発行年 2024年 |
| 2. 出版社 ミネルヴァ書房 | 5. 総ページ数 456 |
| 3. 書名 キーコンセプト法学史：ローマ法・学識法から西洋法制史を拓く | |

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

| | 氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号) | 所属研究機関・部局・職 (機関番号) | 備考 |
|-------|--|--|----|
| 研究分担者 | 市川 智生 (Ichikawa Tomoo) (30508875) | 沖縄国際大学・総合文化学部・准教授 (38001) | |
| 研究分担者 | 松居 宏枝 (Matsui Hiroe) (40837366) | 大阪公立大学・大学院文学研究科・都市文化研究センター研究員 (24405) | |
| 研究分担者 | 福岡 万里子 (Fukuoka Mariko) (50740651) | 国立歴史民俗博物館・大学共同利用機関等の部局等・准教授 (62501) | |
| 研究分担者 | 大西 楠テア (Onishi Nami Thea) (70451763) | 専修大学・法学部・教授 (32634) | |
| 研究分担者 | 稲吉 晃 (Inayoshi Akira) (70599638) | 新潟大学・人文社会科学系・教授 (13101) | |

6. 研究組織（つづき）

| | 氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号) | 所属研究機関・部局・職 (機関番号) | 備考 |
|-------|---------------------------------|-----------------------|----|
| 研究協力者 | 松沢 裕作 (Matsuzawa Yusaku) | | |
| 研究協力者 | 青柳 正俊 (Aoyagi Masatoshi) | | |

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

| 共同研究相手国 | 相手方研究機関 | | | |
|---------|--------------|--|--|--|
| ブラジル | リオデジャネイロ州立大学 | | | |